

公益財団法人金沢勤労者福祉サービスセンター 平成30年度事業計画書

基本方針

勤労者及び事業主の健康でゆとりある生活の実現と、勤労者福祉の総合的な推進を図ることを目的として平成10年10月に当サービスセンターが設立され、今年の10月でちょうど20周年の節目を迎えることとなりました。また、公益財団法人に移行して7年目となります。

北陸新幹線金沢開業に伴う地元経済への波及効果が現れるとともに、ここにまいりまして国内経済も拡大基調を続け、地方でも景気回復の足取りを確かなものに加えて、人材の確保や勤労者の働き方改革といった新たな課題も浮かび上がってきております。このような状況の中、勤労者の福利厚生の実現はますますその重要性を増してきており、このためここ数年取り組んできた新規提携利用施設の拡充やく〜ぼんBOOKの別冊化など、魅力や利便性の向上に取り組んできた結果、会員への各種助成事業は幅広く活用され、また、主催事業についても一般住民を含め多くの会員及び登録家族の参加を得ているところであります。

一方、県内の近隣自治体との広域連携を強化することにより多くの勤労者等に受益が及ぶよう、かねてから各位の協力を得て関係市・町に対しまして補助金の交付要望を行ってきたところであります。その結果、金沢市、内灘町、野々市市、かほく市、津幡町、白山市、能美市、小松市、加賀市の7市2町から補助金の交付を受けているところであります。平成29年度からは、新たに算出方法を見直した補助金額を各市町に要望しており、引き続きご理解いただけるよう取り組んでまいります。

会員の状況につきましては、会員事業所の事業拡大に伴う入会者が増えたこと、加えて職員、加入推進員等が鋭意努力した結果、平成29年度の年間平均会員数は、対前年度比300人増の10,800人となる見込みであります。今後とも関係各位並びに関係自治体等のご協力をいただきながら、会員拡大に最大限の努力を払ってまいります。また、センター事業の周知や加入推進を図るため、引き続き広報活動にも取り組んでまいります。

一方、事業の実施に当たっては、会員のニーズに合ったサービスの提供を行うとともに、厳しい財務環境の中、健全経営に資するためサービス内容の見直しや経費節減など事務効率化を基本とした事業運営に努めてまいります。加えて、20周年の記念事業として感謝の気持ちを込めたプレゼント企画や新たな事業にも取り組むこととしております。併せて、引き続き提携施設や指定店の広域的拡充と利用促進を図ることにより、スケールメリットを活用した会員サービスの向上にも努めることとし、公益法人として事業を通じて地域における産業や社会の活性化に貢献してまいります。

1 会員数の拡大について

- (1) 平成30年度の年間平均会員数を11,100人と見込み、役員等の協力を得ながら事務局職員が率先して新規加入事業所の開拓と新規加入会員の獲得に努めます。また、会員からの事業所紹介をより促進するため、報奨金の上限額を引き上げることとします。
- (2) 広く一般住民や事業主等に事業内容を周知徹底するため、引き続きインターネットを活用したセンター情報の発信に取り組みます。このため、近年のスマートフォンの普及にも対応したホームページへの全面リニューアルを行うこととします。

2 事業の内容について

公益法人として引き続き一般住民も参加可能な事業を実施します。主催事業については参加率等実績を考慮し、新たな事業を実施するなど一部見直しを行います。併せて、

事業の運営経費や管理経費も徹底した節減により健全経営を目指します。また、スポーツ施設等との提携拡大を図るなど、会員サービスの向上に資してまいります。

事業計画

1 公益目的事業

(1) 生活安定及び財産形成に関する事業（定款第4条第1項第1号関係）

①生活安定事業（継続）

会員の生活安定のため、教育費、住宅の建設又は購入等の生活資金の融資を斡旋するとともに、全福センターが取り扱う会員専用の格安な医療保険の斡旋を行います。

②財産形成支援事業（継続）

ア 退職金制度の普及を図るため、中小企業退職金共済制度への加入を斡旋します。

イ 安定した老後生活を送るため、生活設計セミナー等の受講者に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
生活設計セミナー等受講	2,000	10	-

ウ 財産形成セミナーを当センター主催で開催し、一般住民も参加可能とします。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
終活セミナー	30年6月	無料	50

(2) 健康の維持増進に関する事業（定款第4条第1項第2号関係）

①助成事業

ア 疾病予防支援事業（継続）

疾患の予防対策を支援するため、定期健康診断、人間ドック・脳ドック、インフルエンザ予防接種に助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
定期健康診断	700	6,200	-
人間ドック・脳ドック受診	5,000	360	10
インフルエンザ予防接種	700	4,650	50
合計		11,210	60

イ 健康維持増進事業（見直し）

健康の維持増進を奨励するため、スポーツ施設の利用やスポーツスクールの受講に対し助成します。新たに金沢プールを利用対象施設に加えます。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
公共スポーツ施設利用回数券	500	1,170	50
金沢市営テニスコート	300	600	-
(新)金沢プール	100	300	300
金沢勤労者プラザ体育館	120～150	100	-
サンライフ津幡	200	350	-
ゴルフ場プレー代	2,000	2,350	-
ゴルフ練習場プリペイドカード購入	800	1,750	50
スキー場1日リフト券	500～1,400	1,000	△500
スポーツスクール受講	2,000～3,000	220	△80
合計		7,840	△180

②主催事業

ア 健康教室の開催（見直し）

健康の維持増進と体調の改善を図るため、新たにピラティス体験教室とハーブボールC a r e教室を開催します。なお、隔年開催としていたボウリング大会は廃止します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
(新) ピラティス体験教室	30年5月	500	20
(新) ハーブボールC a r e教室	31年2月	1,000	20

(3) 自己啓発、余暇に関する事業（定款第4条第1項第3号関係）

①助成事業

ア カルチャースクール等受講促進事業（継続）

自己研鑽を奨励するため、カルチャースクール等での受講に対し助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数(件)	対前年度比(件)
カルチャースクール等受講	2,000～3,000	100	15

イ 余暇施設利用助成事業（継続）

余暇活動の充実を図るため、宿泊、飲食、レジャー、文化、小売店等各種施設との提携拡充を図るとともに、これらの施設の利用に対し助成します。また、北陸鉄道のバス回数券及び「アイカ」の購入・積み増しに助成するほか、JRバスや近隣市町のコミュニティバス等の回数券・定期券購入にも助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数(件)	対前年度比(件)
宿泊旅行	1,000～2,000	4,950	550
グルメ店	1,000～2,000	10,550	△ 250
映画鑑賞	500～800	22,400	400
文化施設	100～500	1,760	380
石川県県民ふれあい公社施設	200～550	7,800	100
日帰り温泉等入浴施設	50～500	15,080	950
プール・海の家	50～500	3,510	△ 290
その他レジャー施設	50～500	2,470	△ 1,100
バス回数券・アイカ購入積み増し	500	4,950	150
福祉援助サービス	2,000	30	-
合 計		73,500	890

ウ 利用券等の割引斡旋事業（見直し）

余暇活動の充実を図るため、パーキングチケット（香林坊・武蔵地区共通駐車場）や期間限定グルメチケットを販売するほか、年間を通してコンサート・演劇・スポーツ観戦・BCリーグ・J2リーグのチケット等を販売します。また20周年記念事業として、グルメチケットの販売を従来の秋に加えて夏にも実施します。

助成項目	割引率	見込件数(件)	対前年度比(件)
パーキングチケット	20～30%	390	△ 20
グルメチケット（秋）	20～40%	1,500	100
(新) グルメチケット（夏）	40～50%	600	600
コンサートその他チケット	15～30%	2,350	△ 150
合 計		4,840	530

エ バスツアーの斡旋（継続）

余暇活動の充実を図るため、提携旅行業者が実施するバスツアーを斡旋し、会員等に対して利用助成するとともに会員同伴による一般住民の参加者にも助成します。

助成項目	助成額（円）	見込件数（件）	対前年度比（件）
会員特選ツアー	会員・家族 1,500	450	150
	同伴者 500	70	20

②主催事業

ア 各種研修会開催事業（継続）

勤労者として必要なスキルの向上を目的とした各種社員研修を実施します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
新入社員研修	30年5月		30
社員研修（第1回）	30年11月	無料	24
〃（第2回）	31年2月		24

イ 各種教養講座の開催（見直し）

自己啓発の場を提供するため、料理や工作等の知識・技術習得を目指す各種教養講座に加え、新たにお菓子作り教室を開催します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
クッキング教室 パン作り（第1回）	30年5月	1,500	15
〃（第2回）	6月		15
夏休み親子プチアウトドア体験	30年8月	大人・小人 1,000 未就学児 500	40
大根寿し教室（第1回）	30年11月	500	20
〃（第2回）			20
ガーデニング教室	30年11月	1,500	40
しめ飾り作り教室	30年12月	1,000	24
スタンドグラス教室（第1回）	31年2月	1,000	15
〃（第2回）			15
（新）クッキング教室 お菓子作り	31年3月	1,500	20
合計			224

ウ レクリエーション事業（継続）

勤労者等のゆとりある生活や勤労意欲を向上させるため、家族や友人、職場仲間等との交流や余暇活動の場として、映画上映会や各種体験交流会に加え、29年度から実施した親子地引き網体験は募集人員を拡大して引き続き開催します。

事業名	実施予定年月	参加費（円）	募集人数（人）
夏休み親子地引き網体験	30年7月	500	100
映画上映会	30年8月	無料	310
巨峰狩りと古代の火起こし &ピザ焼き体験	30年9月	1,000	50
親子クリスマス会	30年12月	会員・家族 1,000	30
		一般 1,500	10
合計			500

(4) 情報提供事業（定款第4条第1項第4号関係）

会員等に事業内容の周知・紹介と事業への参加・利用を呼びかけるため、会報やガイドブックの発行、ホームページを通して各種情報提供を行います。

また、会員・家族以外も利用可能な事業を広報するため、金沢市広報やフェイスブックを活用するとともに、各市町の公共施設や商工会等に配付、配架します。

事業名	部数(冊)
会報「ゆとりんぐ」春号・秋号	各12,500
〃 夏号・新年号	各12,000
ガイドブック31年度版	13,000
く〜ぼんBOOK31年度版	12,500
全福ネットガイドブック2019配布(会員事業所)※	1,200

※一般社団法人全国中小企業勤労者福祉サービスセンター

2 その他の事業（相互扶助等事業）（定款第5条関係）

(1) 慶弔見舞金給付事業（継続）

給付規程に定める事由に該当した場合、祝金、死亡弔慰金及び見舞金を支給します。

給付項目	給付額(円)	見込件数(件)	対前年度比(件)
結婚祝金	20,000	212	4
出生祝金	10,000	329	7
入学祝金(小学校)	10,000	356	△ 11
結婚記念祝金(25年)	10,000	160	11
還暦祝金	10,000	216	36
永年勤続祝金(10, 20, 30年)	10,000	610	△ 30
祝金計		1,883	17
会員の死亡(65歳未満)	100,000	11	-
〃 (65歳以上・不慮の事故による)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・疾病その他による)	50,000	1	△ 3
配偶者の死亡	20,000	11	△ 3
子の死亡	20,000	4	-
親の死亡	10,000	340	10
死亡弔慰金計		367	4
障害見舞金(65歳未満・重度障害)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・〃 不慮の事故による)	100,000	-	-
〃 (65歳以上・〃 疾病その他による)	50,000	-	-
〃 (不慮の事故による障害)	4,000~90,000	-	-
傷病見舞金(休業14日以上30日未満)	10,000	77	1
〃 (休業30日以上60日未満)	20,000	63	3
〃 (休業60日以上90日未満)	25,000	21	1
〃 (休業90日以上120日未満)	40,000	9	△ 3
〃 (休業120日以上)	55,000	24	△ 7
住宅火災見舞金(50%以上)	100,000	-	-
〃 (30%~50%未満)	70,000	-	-
〃 (20%~30%未満)	50,000	-	-
〃 (20%未満)	20,000	2	-
住宅自然災害見舞金(70%以上)	30,000	-	-
〃 (20%~70%未満)	15,000	-	-
〃 (20%未満)	3,000	-	-
〃 (床上浸水)	6,000	-	-
見舞金計		196	△ 5
合計		2,446	16

(2) 加入促進事業

① 広報活動の推進（見直し）

センターの知名度を高め加入会員の拡大につなげるため、多様な広報活動を引き続き実施します。加えて、設立 20 周年の節目に合わせ、12 年ぶりにホームページを全面的にリニューアルし、情報発信の強化、利便性の向上を図ります。

項 目	内 容
(新)センターホームページのリニューアル	センターホームページを全面的に更新し、入会案内・事業概要説明などをよりわかりやすく掲載するとともに、各種手続きなどスマートフォンへの対応を大幅に強化します。
ホームページバナー広告の相互掲載	提携関係団体と当センターのホームページにバナー広告を相互掲載します。
ノベルティグッズの活用	ノベルティグッズ（あぶらとり紙）を新規会員勧誘やセンターPR活動の際に配布します。
加入案内ダイレクトメールの送付	業種を絞り、対象事業所にノベルティグッズを同封して加入案内パンフレットを送付します。
イベント等への協賛	センターが立地する駅西地区の夏まつりに協賛し、プログラムに広告を掲載します。
加入案内ポスターの掲示	加入案内ポスターを作成し、提携団体や公共施設に掲示を依頼します。

② 加入推進員及び職員による事業所訪問（継続）

加入推進員による飛び込みの事業所訪問を積極的に展開するとともに、役員等の紹介や問合せ等があった事業所や団体に対しては、センター入会によるメリットを理解してもらうため、加入推進員や職員が積極的に出向き説明するなど、新規事業所の獲得に努めます。

③ 会員による紹介制度の活用（見直し）

会報に会員紹介制度を掲載し、新規事業所の紹介を募ります。また、紹介報奨金の上限額を 1 件につき 1 万円から 2 万円に引き上げます。

④ 近隣自治体や商工会・商工会議所等への協力依頼（継続）

近隣自治体の商工担当部門や商工会・商工会議所、関係各団体と連携を深め、会員の増加に努めます。

3 20周年記念事業

当センターが、平成30年10月に設立20周年を迎えることから、日頃の支援に感謝して記念事業を実施します。

項 目	内 容
毎月20日は会員様・感謝Day!	平成30年7月から12月までの6ヶ月間、毎月20日を会員感謝Dayとして、日頃直接ふれあう機会の少ない会員に、センターを身近なものに感じてもらうため、センター窓口の来訪者にスピードくじを実施し、ボックスティッシュ等の賞品を提供します。 また、ダブルプレゼントとして、来訪者全員を対象に抽選でプリペイドカード(1,000円×60枚)を進呈します。
夏季限定グルメチケット 【再掲】	新たに夏期(7月~8月)にホテルディナーを対象としたグルメチケットの販売を行います。割引率を高め設定して、通常のご利用指定店補助券使用時よりも安価に利用できる機会を提供します。
センターホームページの リニューアル 【再掲】	センターホームページを全面的に更新し、入会案内・事業概要説明などをよりわかりやすく掲載するとともに、各種手続きなどスマートフォンへの対応を大幅に強化します。